


往還ノート

1 学期 2 号 (242 号) 2021 年 7 月


放送大学 広島学習センター
福山サテライトスペース

あらたなる価値創造のための多様性

広島学習センター客員教授 藤村 昌彦

私は 50 歳半ばを過ぎて、身体の柔軟性が低下していることに深く嘆いていますが、それよりも考え方の柔軟性の低下が悩みの種です。人間は長く生きていくと知り得た知識や経験が先入観となり、思考の範囲を狭めて行きます。これを英国の哲学者ベーコン (1561 年-1626 年) は「イドラ」と呼んだそうです。例えば、頭の上で人差し指を立てて、時計まわりに大きくまわしてみます。そして、その指を回しながらベルトの位置まで下げて上から人差し指をのぞき込んでください。すると、指はどっち周りにまわっていますか？ あら不思議、時計回りにまわっていたはずの指が、反時計回りにまわっていますね。このように、わたしたちの思いや考えは見方を変えただけで、大きく変わってしまうのです。



50 歳半ばの私に求められることは、考え方の「多様性」かもしれません。今風の言葉で「ダイバーシティ (diversity)」と表現されます。これは、元々は工学用語で、複数のアンテナを立てて、電波感度を検知する技術を指す言葉でした。転じて昨今は、人間には個性や特性があって、その違いをお互いに認め合い、それを活かすことで世の中が元気になり、社会が発展していくという意味で使われています。

次に動物の生態から考察してみましょう。世界中には様々な生き物がいて、乾燥に強い生物、寒さに強い生物など多様な特長をもっています。だからこそ、厳しい環境に負けず、すべてが滅びることなくここまで生き延びてこれたのです。私たち人間も多様性を受け入れて、知識や経験、背景を持った人たちと関わることで、自分ひとりでは経験できないことをたくさん知り、学ぶことができると思います。もしかして、それはまさに放送大学の魅力ですね。

最後に、私は今年の 4 月から「生活と福祉」領域の客員教員として広島学習センターに着任しました。理学療法士として健康増進や障害予防に取り組んでいます。公開講座、面接授業、学習相談等において、思考を柔軟にして多様性に対応できるように努力いたします。ご支援いただければ幸いです。

目次

客員教員寄稿	1	視聴学習・図書室からのお知らせ	5
「所長室コーナー」から	2	行事のお知らせ	5
事務室からのお知らせ	3	スケジュール(7月～10月)	6

文鳥と千鳥

広島学習センター所長 山田 隆

ピョンピョンと跳ねる文鳥。チョコチョコと歩く千鳥。二本の足が同時に動くか、交互に動くかの差がある。同じ鳥なのに動きの差はどこから来るのだろうか？同じことがウサギとネズミの動きにも言える。動物では、左側の脳（左脳）が体の右側を、右側の脳（右脳）が体の左側をコントロールしている。神経繊維は延髄や脊髄で交差する。この神経交差に発達段階で働く遺伝子がある。人工的にこの遺伝子に異常をきたしたネズミを作った実験が2003年に報告された。もちろん、遺伝子機能を科学的に解明することが目的である。そのネズミは、前足と後ろ足を揃えて、ウサギのようにピョンピョン跳ねるようになった。狭い空間を敏捷に動き回る習性のネズミにとって、これは本当に不都合であろう。生活環境に適応して、それぞれの生物種は最もふさわしい形に進化してきている。文鳥と千鳥でこの神経交差に働く遺伝子が、どのように変化しているかは定かではない。ヒトは左右交互に動くが、右利きと左利きがある。人種によって差があるものの、日本人では約9割が右利きと言われている。言葉を喋るのも、物事を論理的に考えるのも左脳の影響下において、左脳が発達することによって右側の運動能力が高まったと考えられている。ところが、人によっては左右が利く所謂「両手使い」がいる。正確には「クロスドミナント」といい、作業によって利き手が変わるのである（<http://www.doublehand-masters.com>）。本来は右利きの人が、左利きに矯正した、あるいは元々の利き手が怪我などで一時的に使えなくなった場合、などがその理由であろうか？両手を同じように器用に使える方が便利だと思うかもしれないが、いざ一つことに集中する場合、どうしても一方に頼るしかないのが現実である。脳科学の研究が進歩し、その知識と技術を利用してヒトは欲望に従い自らの能力を伸ばしたく思うかもしれない。しかし、ヒトはヒトらしくあらねばならない。文鳥は文鳥、千鳥は千鳥の動きがあってこそふさわしい。前者は実生活のペットとして、後者は文学の世界の象徴として人間になじみ深い。人間との関わり方も、大いにその特徴的な動きに関係が



あると思える。ちなみに、「千鳥足」は、子育て中にヒナのいる巣から外敵を遠ざけるために、羽を広げてジグザグに歩き敵の気を引く親千鳥の動きに由来するという。この動きを得意とするヒトもいる。

●○単位認定試験（自宅受験）について○●

2021 年度第 1 学期単位認定試験については、新型コロナウイルスの感染が拡大する可能性を考慮して、2020 年度第 2 学期に引き続き、代替措置として自宅受験にて実施いたします。

なお、単位認定試験の受験に必要な書類等は 6 月末より、原則郵送にて順次お送りしております。

※7/6(火)になっても未着の場合は大学本部（☎043-276-5111）へお問い合わせください。

1. 単位認定試験期間

当初予定していた日程を変更し、以下の日程で実施いたします。

2021 年 7 月 13 日（火）～7 月 20 日（火）（消印有効）

※2021 年度第 1 学期授業科目案内やシステム WAKABA の時間割等は、変更前の日程で記載されていますので、期間をお間違えないようご注意ください。

2. 単位認定試験実施方法

自宅受験（自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法）にて実施いたします。

※受験できるのは、履修登録科目・再試験対象科目のうち、通信指導に合格した科目に限ります。

(1) 試験問題の出題方法（下記の①②のいずれかの方法により試験問題を入手してください。）

①単位認定試験期間中に本学ホームページ（<https://www.ouj.ac.jp/>）からリンクを貼り、科目別の試験問題を掲載いたしますので、ご自身のパソコン・スマートフォン等からアクセスし閲覧してください。（URL は後日ご案内します）期間中は何度でも閲覧可能です。利用できるプリンターがあればプリントアウトも可能です。

※試験期間中の試験問題公開ページへのアクセスには専用の「ユーザー名（ID）」と「パスワード」が必要です。

②Web 上で試験問題を閲覧する環境がない方、また Web 環境はあるがプリントアウトができない方については、主要コンビニエンスストア設置のコピー機端末で提供されているプリントサービスを利用して試験問題を印刷してください。（有料サービス）

※コンビニエンスストアのプリントは有料のサービスとなります。印刷にあたっては 1 枚あたり 20 円の料金がかかります。（枚数単位のため、科目により料金が異なります。）

(2) 答案の提出方法

試験実施期間に先立ち、6 月末頃に「解答用紙（択一式マークシート・記述式解答用紙）」と「提出用封筒」を送付しております。単位認定試験実施期間内に、答案を大学私書箱宛に郵送してください。（消印有効での取り扱いとなります。必ず事前に郵便局窓口の営業時間や、ポスト投函を利用する場合は集荷時刻および消印日付を確認してください。）

単位認定試験の実施方法詳細については、別途、大学本部から解答用紙を送付する際に併せてご案内しておりますので、そちらをご確認ください。

●○次学期の学生証の交付について○●

☞学生生活の葉(大学院 P24~/教養学部 P18~)参照

9 月末で学生証の有効期限が切れる全科履修生の方、次学期に継続入学される方の学生証は **10 月 2 日（土）から交付** できます。有効期限が切れている方は旧学生証を、継続入学される方は旧学生証と「入学許可書」を事務室窓口まで持参してください。なお、学生証交付にあたっては、必ず学生本人が手続きを行ってください。

顔写真を新しくされたい方は、更新の 1 か月前に学生生活の葉巻末にある「写真票」を放送大学本部学生課まで郵送いただくか、システム WAKABA「教務情報→学生カルテ」から変更してください。システム WAKABA は有効期限日の 2 か月前より変更可能です。

●○次学期の履修手続きについて○●

☞ 学生生活の葉(大学院 P56~/教養学部 P60~/参照

① 次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

☞	申請期間	申請方法
郵送	8月15日(日)~ 8月30日(月)本部必着	7月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。
インターネット	8月15日(日) 9:00~ 8月31日(火)24:00	システム WAKABA の「教務情報→科目登録申請」から手続きを行ってください。

② 今学期で学籍の切れる方

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

☞	出願期限	出願方法
郵送	【第1回募集】 8月31日(火)本部必着 【第2回募集】 9月14日(火)本部必着	7月中旬に送付されます継続入学用募集要項(※)もしくは一般の募集要項に必要事項を記入の上、大学本部へ郵送してください(選科・科目履修生から全科履修生に継続入学する場合は一般の募集要項にて手続きをしてください)。 ※集団入学、共済組合を利用しての入学、自主退学者には送付されません。
インターネット	【第1回募集】 8月31日(火)24:00 【第2回募集】 9月14日(火)17:00	システム WAKABA の「教務情報→継続入学申請」、もしくは放送大学ホームページのインターネット出願から手続きをしてください(教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は下記◎部分を参照してください)。

③ 今学期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない場合。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい場合。

④ しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

◎ 継続入学生が学期当初から面接授業の登録申請をする場合

教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される方は、**科目登録申請期間中(8月15日(日)~8月31日(火))にシステム WAKABA(「教務情報→継続入学申請」)から出願を行う必要があります。(郵送での受付はありません。)**

- 科目登録申請期間外に継続入学申請を行った場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願時には、1科目以上放送授業又はオンライン授業を登録する必要があります。面接授業の登録申請のみでは出願できません。

▼ 面接授業に関する注意事項 ▼

2021年度第2学期の面接授業につきまして、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、閉講、定員削減、Web(Zoom)授業への変更、加えて越境受講の禁止等の措置を行う可能性があります。

卒業見込者、資格取得を主眼とした単位修得を目的とする方は、放送授業やオンライン授業を積極的に受講ください。

◆◇視聴学習・図書室の学期末臨時閉室について◆◇

次学期準備のため、広島学習センター視聴学習・図書室を **9月24日(金)～30日(木)** の期間、閉室します。図書の貸出・返却手続きは事務室にて行いますので、窓口までお越しください。
福山サテライトスペース図書室は通常通り開室しています。

◆◇広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について◆◇

2020年度第1学期(4月～9月)に広島学習センター視聴学習・図書室に配架していた雑誌のバックナンバーを、下記期間中に無料配布いたします。引き取りを希望の方は、先着順でご自由にお持ち帰りください。なお、雑誌の予約申込や配送(着払いも含む)は受け付けておりません。

- ◆配布期間：8月15日(日)～8月31日(火)
- ◆場 所：広島学習センター視聴学習・図書室(3階)

◇配架雑誌◇

英語教育／栄養と料理／こころの科学／情報処理／ニュートン／月間福祉／文藝春秋／法学セミナー／臨床心理学／National Geographic

2021年度 広島学習センター文化祭
展示作品募集

今年も広島学習センターにおいて、文化祭を開催します。つきましては、学生の皆様より、文化祭で展示する作品(絵画、写真、俳句、短歌、ほか美術作品等)を募集します。作品展示を希望される方は、下記申込書に記入していただき、10月10日(日)までに事務室へ提出してください。

- 文化祭日時：10月30日(土)
- 展示会場：広島学習センター中講義室・小講義室(4階) (予定)



2021年度広島学習センター文化祭 作品展示申込書
申込締切【10月10日(日)】

学生番号		氏名	
電話番号	()	メールアドレス	
団体名 (学生団体のみ)			
展示作品の内容			

- ※学生団体での申し込みの場合は、代表者の学生番号・氏名を記入してください。
- ※展示用パネルは事務室で用意します。
- ※展示作品は10月24日(日)までに広島学習センターに搬入してください。

行事の中止のお知らせ

8月に予定しておりました納涼会と10月に予定しておりました研修旅行及び福山サテライトスペース主催の美術鑑賞会は、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、開催を中止とさせていただきますことといたしました。

開催を楽しみにされていた皆様にはお詫びを申し上げますとともに、ご理解をいただきますようお願いいたします。

スケジュール(7月～10月)

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

13日(火)～20日(火)単位認定試験(自宅での受験)
※当初の予定から変更しています。

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	※13	※14	※15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

15日(日)～30日(月) 科目登録申請期間(郵送)
15日(日)9:00～31日(火)24:00 科目登録申請期間(Web)

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

24日(金)～30日(木) 視聴学習・図書室学期末臨時閉室
26日(日) 学位記授与式/入学者の集い

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2日(土) 大学院入試(筆記試験)
15日(金) 面接授業空席発表
21日(木) 面接授業追加登録
30日(土) 文化祭

閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日) (※) 臨時閉所日

<ご注意ください>

・8月13日(金)～15日(日)は、広島学習センター・福山サテライトスペースとも臨時閉所いたします。

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)
TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

MAIL / 学習センターHP

hiroshima-sc@ouj.ac.jp / <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>

卒業・修了おめでとうございます

2021年3月28日(日)に、2020年度第2学期学位記授与式を行いました。

広島学習センター



福山サテライトスペース



【2020年度第2学期卒業生数】

【2020年度第2学期修了生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース	学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	19	4	生活健康科学プログラム	1	1
心理と教育コース	21	6	人間発達科学プログラム	3	—
社会と産業コース	15	2	臨床心理学プログラム	1	—
人間と文化コース	8	1	人文学プログラム	1	—
情報コース	5	1	情報学プログラム	1	—
自然と環境コース	5	2	自然環境科学プログラム	1	—
合計	73	16	合計	8	1

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

目次

卒業・修了おめでとうございます.....	1	卒業生・修了生代表挨拶.....	3
学位記授与式客員教員祝辞.....	2	卒業生・修了生からのメッセージ.....	5

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 西別府 元日

満開の桜を散らす雨ですが、卒業（修了）証書ならびに学位記を授与されました皆様、本日は誠にありがとうございます。「卒業式」と「学位記授与式」という表現の違いが、少し気になりましたので調べましたところ、学校教育法 104 条に「大学を卒業した者に対し学士の学位を授与するものとする」とありますので、これによって大学の定めた課程を修了したことが認定され、大学院（前期課程）への進学はもちろん、他大学へ「学士」入学をめざす権利や「第 1 種教育職員免許状」「専修教育職員免許状」を取得する基礎資格が与えられたことになります。48 年前に私が大学からいただいたものは「卒業証書」であり、その付けたし的に「文学士と称することを認める」という文言があることをこのたび改めて確認しましたので、いわゆる卒業証書は、一旦保存用の紙筒等の中に入ると 50 年近くたっても出してみないようなシロモノのようですので、「卒業証書」「学位記」授与と表現されていることに、大変丁寧な対応だなと感じているところでございます。ただ、このなかの「位記」という表現は、1300 年以上前の奈良時代に入るところから使われている言葉ですが、個人的には現代の社会に合わないのではないかと、若干の違和感ももっていますので、ここからは世間で認知されている「卒業（修了）」という言葉を使用させていただきます。

放送大学 広島学習センター
令和 2 年度 第 2 学期 学位記授与式
令和 3 年度 第 1 学期 入学者の集い



そこで、改めましてご卒業ご修了おめでとうございます。いま申しました表現の変化の背景には、戦後の高度経済成長にともなう高等教育の需用の拡大とその多様化という社会状況の変化があったと考えられますが、この激しく変化する社会のなかで、学業にいそまれて「学位記」を授与された卒業生・修了生の皆さまには、こころよりお慶びを申し上げます。とりわけ放送大学では、中国の儒学者・孔子が言うところの志(し)学(がく) (15 歳)・而(じ)立(りつ) (30 歳)・不惑(ふわく) (40 歳)・知命(ちめい) (50 歳)、耳順(じじゆん) (60 歳)・従心(じゆうしん) (70 歳) という人生の区切と生活規範の形成という階梯をふみながら、社会のなかでそれぞれの役割を果たされつつ就学・学業を实践されてこられた方がたが多いことを思いますと、コロナ禍のなか、お祝い事さえも「自粛」を要請されるようなご時世ですが、この度だけはパートナーやご両親あるいはお子様・ご兄弟など大切な周辺の方がたと喜びを分かち合っていたいただいても、誰も非難できないのではないかと思います。

この晴れの日にあたりまして、僭越ながら広島学習センターの客員教員としてお祝いの言葉を述べさせていただいております私も、この 1 月に 70 歳、先ほどの孔子の区切では、心のままに生きて道德の規準から踏みはずすことがなくなる「従心」ということになり、さだめにより退職、いわば教師生活から「卒業」ということになります。ところが無事卒業とはいかず、ここ数年続けております研究に必要な山歩きの中で、チョットした油断がもとでケガをし、昨年終盤の 3 ヶ月、事務の方がたや受講予定の皆さまに多大なご迷惑をおかけすることになってしまいました。もう一働きしないと、自分自身としては「従心」の境地には達しないなと思っておりまして、この壇上にあがらせていただくことになり、何とか「卒業」できそうでございます。

教師生活は終了しても「業(なりわい)」となっている研究生生活、とりわけ過去の人びとが書き残した文字資料からその生き様を学び、人間とは何か、人間の造りあげた社会の仕組みや文化を考えるという作業から、あと 10 年近くは「卒業」できないだろうと思っておりますので、その「業」を継続していく自分の指針のようなことをご紹介します、お祝いの言葉に代えさせていただきます。と思っています次第でございます。

お手元にお届けしたのは、20 世紀に活躍した英文学教師で美術史研究者、のみならず俳人・書家としても活躍した會津八一が、若い学徒へというだけでなく、自ら実践し、自らの人生の指標としたものですので、この機会にご紹介させていただこうと思った次第です。

第一条目の「ふかくこの生を愛すべし」はいうまでもなく、生きていくことの大切さを強調し、第二条「かへりみて己を知るべし」では、自分をしっかりと見つめなおして自己を認識すること、第三条目の「学藝を以て性を養ふべし」とは「学ぶこと」によって知識のみならず人間としての徳性・理性を涵養し、その結果として第四条目の「日々新面目あるべし」、すなわち日々新たな境地・地平に立ちいたることをめざすべきことを述べたものです。

「山歩き」をしながら油断をした私など、生きていくことに感謝しつつ自らの身体をいたわることをないがしろにし、自分がいかにせっかちで周到さを欠いているか、学ぶことのなかで身につけるべき能力や精神、自制の念や繊細な心配りなども形成されていないのですから、日々新しいものを発見し着想をみだすことなどできないことは言うまでもありません。

ご卒業ご修了の皆さまにおかれましては、これからも、放送大学広島学習センターで過ごされた日々を愛(いと)おしみ、今日までの大学生活のなかでの自らの成長を確かめながら、ご卒業ののちも生活のなかでさまざまな「学び」を实践され、いっそうの自己革新を希求しながら毎日をすごしていただければと祈念しております。

あまりに押しつけがましいものになってしまいましたが、心ばかりのお祝いの言葉にかえさせていただきます。

本日はご卒業ご修了おめでとうございます。

卒業生・修了生代表挨拶

広島学習センター卒業生・修了生代表 秋山 克美(情報学プログラム)

桜の花も咲き、春もたけなわとなりました。今日の良き日に、バーチャルではなくリアルで学位記授与式を開催いただき、感謝に堪えません。また、山田センター長や客員教授の先生から、温かい祝福の言葉をいただきました、重ねてありがとうございます。



2014 年秋にわたしは、情報技術の基礎を学び直し、また情報技術を支える学問分野である数学や心理学を学ぶために、放送大学に初めは選科履修生として入学しました。一年後に教養学部情報コースの全科履修生として入学しました。理系教科は受講者も少なく、当初は孤独な学生生活でしたが、SNS で他の学生と緩くつながることもでき、広島学習センターでのイベントのたびに少しずつ学友も増えていきました。

ひとつおりの科目の履修が済んだ頃、学習センターの図書室で教育社会学に興味を持ったことから、教育学系の科目も履修を始めました。特に関心を持った高等教育論に関する面接授業は、他県や東京まで受けに行きました。

情報コースの卒業が近づき、卒業研究事前支援を申し込んだところ、本部で見ていただくことになりました。そこで卒研を飛び越して大学院での研究を勧められ、教養学部卒業前に大学院修士課程に入学することになりました。大学院では、自分で調べたいことを調べる方法と技術を学ぶことができました。修士論文のテーマは、「大学受験生の行動をソーシャルメディアから分析するーYahoo!知恵袋を対象とした研究ー」という、自然言語処理という情報技術を使って大学受験生のネットへの書き込みを分析するものです。教育への関心とITの両方を活かせるテーマで研究することができました。この研究や、研究論文を研究会で発表したことで、ITで社会の課題を発見するための端緒が見えてきた気がします。



新型コロナウイルス感染症流行のため、最後の渋谷での学位記授与記も合唱が中止になりました。ゼミがすべてリモートになって先生やゼミ仲間と直接会うことも叶わないまま、大学院の修了を迎えましたが、ここ広島で直接学位記授与式に参加できることに感謝します。運営してくださいました、広島学習センターの教職員の皆様、ありがとうございました。最後になりましたが、学友の皆様、教職員の皆様のご健勝とご多幸、放送大学のますますの発展を祈念しまして、結びの言葉とさせていただきます。



卒業生・修了生代表挨拶

福山サテライトスペース卒業生・修了生代表 高橋 大造（社会と産業コース）

本日は、私たち卒業生のために、このような素晴らしい学位記授与式を催していただき、誠に有難うございます。また、山田所長様からは心温まるお言葉を頂き、重ねて感謝申し上げます。そして、学生生活を温かくサポートしてくださった皆様のおかげで、この度晴れやかな気持ちで卒業の日を迎えることができ、感謝と喜びを感じております。本当に有難うございます。

私は 2004 年、市役所現役時代に、友人の図書館長に誘われ、全科履修生として入学しました。明確な目標があったわけではなく、興味本位と教育行政への協力から始めた感じでした。

当時労働行政に携わっていたため、「社会と産業」コースを選択しましたが、関心や興味中心の科目選択でした。法学部法律学科を卒業しましたが、目指す国家試験には合格出来ず、地元に戻り就職、結婚、子育てと、どっぷり家庭生活にはまりました。

法科大学院に通う余裕はないので、働きながら学ぶ勤労学生の道を選びました。3年後、仕事関連の国家資格である社会保険労務士の資格を取るため、半年ほど休学、なんとか合格することができました。10年の満期も過ぎ再々入学して5年、今日卒業の日を迎えましたが、常に時間との戦いでした。

社労士も行政書士も、退職して実質的に開業、ファイナンシャルプランナーもやっていますが、学ぶべきことが多く、放送大学の教養科目をどう選択し、仕事や生活に生かしていけるかが課題です。止めることは簡単ですが、生涯勤労学生であり続けたいとの夢も持っています。

学ぶことは、人間として最も誇り高い権利であり特権です。人間も社会も文明も、学ぶことを止めたとき衰退が始まります。問題は常にみずみずしい命と、学びの姿勢があるかどうかです。義務でも、やらされるものでもない、そこが勝負の分かれ目と思います。

新しい知識の習得のみが、学ぶということの本当の意味ではないと思います。最も重要なことは、学ぶことによって、自分自身が「新しい自分」になっていくこと、ではないでしょうか。

この三月で東北の大震災から10年です。あの時あの頃、自分自身も挫折のどん底にいたではないか。その反省から、自分自身は何を決意し、何を残してきたであろうか。

最後に、3.11を記念して、自らを励ます歌を次の如く詠みました。今後とも、苦しい時、大変な時には、「何の為」に学ぶのかを思い起こし、より楽しく創造的な生涯学習を続けて参りたいと思いますので、よろしく願います。

「ふり絞れ 希望と勇気と 人間力を 叫ぶは 今宵限りの 桜かな」

本日は、大変有り難うございました。



卒業生・修了生からのメッセージ

2020年度第2学期卒業生・修了生の皆様より、卒業・修了にあたっての思いや、これから学ぼうとする学生の皆様へ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 K.S

2年前に3年生に編入し、54才で大学生活がスタートしました。現役の看護師をしており、看護学の復習をすることができると同時に新たな知識を深めることができ、楽しく学習することができました。

大学の学生さんと触れ合うことは、ほとんどありませんでしたが、私よりも年の多い方が自習室で学習されている姿や試験を受けられている姿を見て、生涯学習として、私もこれからいろいろなことにチャレンジしていこうという気持ちになりました。2年間ありがとうございました。

●生活と福祉コース卒業 藤井 泰晴

看護師として勤務していますが、ステップアップを図るため、放送大学に入学しました。独学ということで勉強時間の確保とペース配分が大変でした。通信指導の提出期限を失念し、半期を棒に振ってしまうこともありました。試験会場では、同じ会場に色々な科目の試験を受けに来られていて、緊張しましたが、皆同じく目標に向かって頑張っているんだと刺激を受けました。この度、無事に卒業することができ、感無量です。

●生活と福祉コース卒業 渡部 康子

2010年に入学して2度目の卒業です。最初は卒業だけの為の駆動的な勉強でしたが、学ぶ楽しさを知り、友達も出来、他県での面接授業の体験、パソコンサークル等で楽しみキャンパスライフを満喫、5年で卒業しました。その後はゆったりと自分を高めるために再入学して仕事に関係の深い介護方面の勉強や、苦手だった数学、化学などもおもしろく6年間あっという間でした。放送大学では知識だけでなくいろんな成長をさせていただき、とても感謝しています。

●心理と教育コース卒業 英 昌子

「自分のスキルアップをするといい」母校の先生から背中を押してもらい、認定心理士の資格取得を目標にしてスタートした大学生活でした。

問題解決方法や子育ての中で役立つ知識を学べたことは、とても有意義な時間で小学生の娘に勉強する姿を見せることもでき、後半は二人仲良く机に並んで勉強した事は良い思い出です。認定心理士の単位も修得できたので、次の目標を見つけステップアップしていきたいと思っています。

●心理と教育コース卒業 鍛冶 靖子

私にとっての放送大学4年間は、友と出会える嬉しさ、学ぶ楽しさ、考える面白さ、表現できる喜びを想像以上に実感したものとなりました。今度は、これら学びを結果に変えるアウトプットをしていきたいと思っています。

又、学びは生きるための羅針盤となり得ること間違いなしだと思います。引き続き継続入学をし、学び続けることで、新しい知見の基盤を得ることが期待できます。楽しみながら、続けていきたいと思っています。

●心理と教育コース卒業 坂口 宣子

息子が心理学部に進学したいと言いだしたのをきっかけに、私も学んでみようと思い始めました。最初の2年は科目履修生としてゆっくりとチャレンジ。自信がついた所で3年生に編入しました。しかしその年は張り切りすぎて気分がダウン。翌1年間は面接授業のみで充電をして5年目の今年、無事卒業となりました。

仕事に家事、勉強ととても慌ただしく大変だったけれど、知らないことを学ぶ楽しさ、面接授業で出会った人との交流、勉強のことで息子にアドバイスをもらったりあげたり、意見交換をしたりと、やはり学んでよかったと思う事がとても多い5年間でした。

資料を取り寄せて悩んでいた時に「まず1教科から試してみればいいんですよ。」と仰ってくださった大学の方のおかげで、素晴らしい5年を過ごせました。勇気をくださってありがとうございました。また勉強をしたくなったら始めようと思います。

●心理と教育コース卒業 田中 聰恵

看護職として勤務していた頃、毎日ががん患者に向き合う中で心の支援に常にジレンマを感じていました。傾聴の技術を学びつつ、人の心の基本的知識を学ぼうと退職後に放送大学に入学しました。新しい知識が経験したこ

とに合致してエビデンスが納得のいくものとなり、学ぶことが楽しく感動ものでした。それは自分を知ることに繋がり、自分を認めて他人への支援は何かを考え発言や行動していくことに確信を持てるようになりました。ありがとうございました。

●心理と教育コース卒業 藤本 郁恵

他の心理学専門コースで4年間学びましたが基礎がしっかり学びたいと思い放送大学に2016年第1学期に3年次編入し心理と教育を学び始めました。仕事と学びの両立はたいへんだったのですが、学ぶことで仕事に活かすことができ学ぶことが楽しくなってきました。面接授業もパソコン・絵手紙など興味を持っていたことも学ぶことができ視野が広がった気がします。この度6年で無事に卒業することができ安堵の気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

次は「人間と文化コース」で引き続いて学びたいと思います。

●心理と教育コース卒業 M.M

子育ても一区切り、人生も一区切りを実感した年に入学。二十歳のとき「セラピストになりたい」と思ったことを思い出したからです。自分で検索して、オッカナビックリの学生生活でしたが、何とか卒業です。そして、放送大学で学んだことで次の目標を見つけました。

いつまでも新しいことに挑戦し続けて、少しでも老化を遅らせたいと思います。

●心理と教育コース卒業 溝田 有里子

職場で「私、短大しか出てないので」とふと出た自分の言葉にハッとしました。そうだ、大卒目指そう。そんな気持ちで放送大学に入学しました。単位認定試験、面接授業で仕事を休む時、応援してくださった職場の方々、自宅での学習に協力してくれた家族、放送大学の教職員の皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

●心理と教育コース卒業 山中 恵

2年前、3年次編入で入学し、『2年間で卒業しよ

う』と決意して勉強しました。

入学当初は勉強の仕方を忘れていて、卒業できるのか不安になりましたが、この度、無事に卒業することができます。ありがとうございます。放送大学に入学した動機は、学士取得だったのですが、勉強していくうちに資格取得を目指すようになりました。来年度からも全科履修生として、引き続き学びを広げていきたいと思います。よろしく願い致します。

●社会と産業コース卒業 牛尾 浩

この度卒業が決まり安堵と一抹の寂しさを感じております。49歳で放送大学入学、最初の1年半で取得できたのは30単位です。この1年半はDVDやCDの貸出があった頃で、当時は何回も何回も借りに来て、家で勉強をしました。自宅にネット環境がないため、通学(笑)という手段で通った学び舎でした。残りの94単位取得はどれくらいかかるのか想像が付きませんでした。学校内でのインターネット授業に切り換えて学習が伸びたのだと思います。ここでの4年半はいかに単位取得と共に、いかに勉強に集中する時間を作り出せるかが、一つの課題だと思います。「大学だけは卒業したい」という気持ちだけで、私自身やってきました。「生活密着と実生活と暮らしに役立つ」をテーマで、これからも満足することなく勉強したいと思います。

●社会と産業コース卒業 島崎 セツ子

苦手とする「社会と産業コース」でしたが、無事に卒業することができました。

著名な講師の先生方の授業は、私をすっかり魅了しました。マンツーマンで指導を受けているようで、楽しく受講し、苦手を克服することができました。

たくさんの新しい知識を学びとり、充実した二年間でした。

●社会と産業コース卒業 高田 光枝

「放送大学で学びたいと思ったのはなぜだったか」、はっきりとは思い出せない。今のようにあまり報道されていなかった。日々の生活や仕事他のことをしながら、ゆっくりと少しずつ、広く浅く歩んできたように思う。社会と産業コース

は3回目の卒業である。前回の卒業時に『卒業研究論文』を提出、今も同じ事柄の研究を深めている。「学び」は心の栄養であり、誇りでもある。4月からは他のコースで学ぶ予定だ。

●社会と産業コース卒業 高橋 大造

役所の現役時代に誘いを受け入学。行政関係の仕事柄「社会と産業コース」を選択。途中社労士試験対策の為1年弱休学。合格後再入学したが、教養学部なので今一つ身が入らない感じもあった。時間と金をかけ何を学ぶのか、まず最初に、どこまで何のために学ぶのかを明確にしておきたい。「英知を磨くは何の為」を意識して、人の役に立てられたら幸いです。今後とも、健康対策、生涯学習の一環として継続していきたいと考えます。

●社会と産業コース卒業 高橋 文子

情報過多の現代では必要な情報も嫌な情報や誤った情報も溢れている。放送大学の多方面からの学びは情報の理解や選択に役立ち、情報に振り回されず、あらゆることに否定的にならずに暮らしていける。私にとって放送大学は生きていく上での羅針盤になっている。このコースでグローバル化による経済の変化、株式投資と経済、家計経済の管理など生活に身近な学びも得られた。無事卒業を迎え感謝すると共に今後も学び続けたい。

●人間と文化コース卒業 N.A

科目履修生として、科目群履修認証制度の芸術系・歴史系博物館プラン2つの認証を得てから、全科履修生に。直接には出会えない多くの方々と、学習システムに支えられ、充実したステイホームの時を過ごし、卒業へと繋がりました。放送大学生活と離れがたく、4月から修士選科生に。状況が好転すれば、博物館実習を履修して学芸員資格取得に挑戦する夢もあります。受験期を迎える孫たちに、学ぶってすごく楽しいことだと伝えたいと思います。

●人間と文化コース卒業 小野 晴雄

広島学習センターの先生、職員の皆様のお陰で卒業できたことに感謝しております。三十代の頃に上司から

「会社と家に続く第三の居場所が必要」とゴルフを勧められましたが、上達しなかった私は長続きしませんでした。しかし、放送大学が、私の第三の居場所になりました。図書室での自習、広島学習センターや他センターでの面接授業、記述式の課題、卒業研究と多くの人との幸せな時間を過ごせたのです。今後も「永遠の大学生」を続けます。

●人間と文化コース卒業 松本 泰恵

この度おかげさまで人間と文化コースを卒業です。昨年は3月15日が白内障の手術の日で不安もありましたが今日まで無事に過ごさせていただいています。

現代の危機と哲学('18)の森一郎教授からいただいた添削「東北の高校生の登山プロジェクト完遂を祈念いたします」のお心遣いを涙しながら繰り返し見えています。

次は情報コースへ行きたいと思っています。これからもよろしくお願い致します。

●情報コース卒業 片山 勝己

2000年の入学以来、放送大学から4枚目の学位記をいただきました。支えてくださった皆さんに感謝です。今のマイ・ブームは研究です。とても楽しいです。学内外で色々な研究指導の受け方があります。ですが、本学の卒業研究がその中で指導の質が一番高く、なおかつコスト・パフォーマンスがピカ一です。皆さんにもお勧めします。でも、時々休むことも大切。再入学をしましたが、今年度は研究を休み来年度から研究再開する予定です。

●情報コース卒業 M.S

オンライン授業の感想です。印刷教材がなく画面のテキストをダウンロードする等、労力を要し、ディスカッションでは、先生からの問いかけが難しく、色々調べ、ない知識の中で考える等エネルギーを要しました。放送授業より、より積極的に調べることが必要となり（科目によるかもしれませんが）慣れないことに戸惑いながらも色々な学び方を学びました。先生の厳しさと熱意を身近に感じ、レポートへのコメントも心に残りました。

.....

●情報コース卒業 中野 孝二

「青い花が咲いてるよ」

幼い頃バスの窓から桜並木を見て、母親に青い花が咲いてるよと話したことがある。後年、母親はバスの中でとても恥ずかしかったと私に言っていた。そう、私には色覚に異常がある。幼心に色がわからないことは恥ずかしいことなのかなと思った記憶がある。しかし、その時から不思議に思う心・疑問を持つ心が育ったように思う。理系には進めなかったけど「科学」が大好きです。趣味は？と聞かれると「科学を学ぶこと。」と言います。

.....

●情報コース卒業 平田 健志

今回6回目の卒業となりました。放送大学に入学したのは20年以上前。この20年の間に色々ありましたが、一番大きいのは、専攻制からコース制に変わったということでしょうか。情報コースができた余波で「社会と経済専攻」と「産業と技術専攻」が纏められ、「社会と産業コース」となってしまったため、6回卒業してもまだ「生活と福祉コース」が残っています。

放送大学には色々な目的で入学される方が多いと思いますが、地道にやれば必ず卒業できます。無理をせず皆さんもがんばってください。

.....

●自然と環境コース卒業 烏尾 朋江

この度、はからずも卒業することとなりました。

現役の頃に1科目だけ科目履修し、学生番号もそのままに長い空白期間を経て、定年後改めて全科履修生となりました。若い頃のように単位を気にする事もなく、興味・関心にまかせた自由気ままな受講ではありますが、一つ理解すると次の疑問が生まれる、ささやかながら、先人の云う「無知の知」を実感しているところです。

「人生百年、学びも百年」をモットーに、私の生涯学習はまだまだ終わらないでしょう。

.....

●自然と環境コース卒業 田坂 茂

65才のとき、「大学」への関心と挑戦で入学、その後は頭の体操とエキスパートシステムの認証も目指しました。科目の選択は幅広い分野を目指したので、深掘りはあま

り出来ませんでした。勉強法はテキストの通読反復8回（2科目で1日5時間）を目指しました。テスト後の解放感は格別でした。妻を亡くし、84才となり、終活の時間確保に切迫感を感じるようになりました。これまでの皆様のご支援に感謝します。

.....

●生活健康科学プログラム修了 谷中 伸也

社会人にとっての論文作りは、忙しい生活の中で相当の時間を割いても論文を作りたいという動機付けが出来るかが、第一の関門になると思います。

私の場合、「修士号の学位を取得したい」という以前からの願望がありましたので、そのための論文作成への取り組みとなりました。しかし、学位取得のような明確な目標がない場合には、個人にとって達成感や誇りにつながるような動機を作りませんと、挑戦しようという意識は芽生えてこないのではないかと思います。

.....

●人間発達科学プログラム修了 栗塚 祐二

「パパも勉強するんだね」

まだ小さい3人の子どもに、父親が勉強する姿を見せることができ、大人になっても学び続ける生涯学習の在り方を肌で感じてもらったのではないかと考えています。社会人として15年間仕事に従事した成果をまとめたというのが修学のきっかけでしたが、思わぬ副産物でした。

家族の協力（特に妻）のもと、また、コロナ禍で全国の同期と励まし合いながら乗り越えた2年間は、かけがえない思い出です。

.....

●人間発達科学プログラム修了 松崎 親男

長年、高校で英語の教鞭をとった。「どうやれば英語が身につくか」「英語教育の意義は何なのか」と自問自答しながら定年退職を迎えた。教員生活は激務の連続だったので、退職後の1年間は心身のリフレッシュにつとめ、家の断捨離、旅行、フルマラソン参加など、自由に過ごした。その後大学に再就職し、放送大学大学院へ入学。修論のテーマは「小学校の英語教育」。大学から眺める小学校の英語教育は実に興味深いものであった。